



2026年8月13日

各 位

会社名	株式会社Photosynth	
代表者名	代表取締役社長	河瀬 航大
		(コード番号：4379)
問い合わせ先	執行役員CFO	田中 元
		TEL. 03-6630-4585

関係会社株式評価損（個別）の計上に関するお知らせ

当社は、2026年12月期第2四半期の個別決算において、下記のとおり関係会社株式評価損を計上いたしましたので、お知らせいたします。なお、当該関係会社株式評価損は連結決算においては消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

1. 計上の背景

当社の連結子会社である株式会社MIWA Akerun Technologiesは、賃貸住宅市場向けスマートロック事業を展開しており、当第2四半期累計期間においては、賃貸管理会社等における採用の拡大を背景に売上高が前年同期比で3倍超となるなど、事業は計画通り順調に進捗しております。損益面においても損失幅は着実に縮小しておりますが、同社は現在、製品機能の強化及び賃貸管理会社への標準採用の獲得に向けた販売体制の強化など、将来の事業拡大に向けた先行投資を優先する事業フェーズにあります。このため純損失が継続しており、その結果、同社の純資産額に基づく株式の実質価額が著しく低下したため、会計基準に照らして減損処理を行ったものです。なお、2025年2月12日公表のとおり、同社の株式に関しては2024年12月期においても関係会社株式評価損を計上しておりますが、いずれも将来の事業拡大に向けた先行投資を優先する事業フェーズにあることに伴う純損失の継続という同様の理由によるものです。

2. 計上の内容

株式会社MIWA Akerun Technologiesの株式について、将来の事業成長を見据えた先行投資に伴い純損失を計上してきた結果、株式の実質価額が著しく低下したため、「金融商品に関する会計基準」に基づき減損処理を行い、2026年12月期第2四半期の個別決算において、関係会社株式評価損77百万円を特別損失として計上いたしました。

3. 業績に与える影響

当該関係会社株式評価損は、当社の個別決算においてのみ計上されるものであり、連結決算においては投資と資本の相殺消去に伴い全額消去されるため、連結業績に与える影響はありません。また、同社の損益は従来から連結業績に反映されております。なお、当社が公表している業績予想は連結業績を対象としており、本件が業績予想に与える影響はありません。

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社Photosynth IRお問い合わせ窓口 ir-net@photosynth.co.jp